

日刊建設通信新聞（2022年1月12日付3面掲載）

【オリコンサル 豊田で次世代モビリティー走行実験】

豊田で次世代モビリティー走行実験

オリコンサル

オリエンタルコンサルタンツは、次世代モビリティーの1つである電動キックボードが本格的に運用された場合の自動車、二輪車、自転車との道路空間の配分のあり方を検討するため、愛知県豊田市で「次世代モビリティー（電動キックボード）の走行実験」を実施した。

豊田市や名古屋工業大学の協力を得て、警察庁の「多様な交通主体の交通ルール等のあり方に関する有識者検討会」による検討状況を踏まえながら、誰もが安全に走行できる道路空間の在り方を模索。電動キックボードによる走行実験で安全性や走行性の評価だけでなく、自動車などへの影響を分析するための交通状況の観測調査を実施し

た。
実際に電動キックボードで走行したモニターのアンケートによると、市街地を走行した際に「路上駐車による走行の阻害」があったことや、郊外の幹線道路を走行した際に「走行できる道路幅や路面の凹凸への不安感」があるといった声が寄せられた。
同社は今後、次世代モビリティーが本格的に導入された際に、誰もが安全に走行できる道路空間の創出に貢献するため、走行実験データを詳細に分析して学会などで発表していく方針を示す。